

第1回下丸子駅周辺地区のまちの将来を考える会

日 時：令和3年10月18日（月）18：00～19：30

場 所：オンライン形式による開催

参加者：【資料1】参加団体名簿を参照

■議事概要

（1）開会あいさつ

- ・大田区鉄道・都市づくり部鉄道・都市づくり課の山田より開会のあいさつを実施

（2）本会の開催した経緯、目的、到達点について

- ・大田区鉄道・都市づくり部鉄道・都市づくり課の山田より「本会の開催した経緯、目的、到達点について」資料を用いて説明

（3）OCTC野原センター長の活動紹介等

- ・OCTC野原センター長より、「まちづくり構想をとりまとめる意義」や「OCTCのこれまでの活動内容」等について資料を用いて説明

（4）参加団体・企業の活動紹介

1）参加団体・企業の活動紹介

①シエルズガーデン自治会

- ・矢口地区自治会連合会は18の町会自治体で構成されている。
- ・コロナの影響でここ2年間、ほとんどの催し物が中止となっている。これだけの期間催し物が中止となってしまうと、催し物の経験者がいなくなるなど、取り組みを継続していくことが非常に難しくなっている。
- ・来年3月に行う矢口地区最大のイベントである「二十一世紀桜まつり」の開催に向けて現在準備を進めているところである。

②千鳥南町会

- ・鵜の木地区の中でも、千鳥南町会は今回の下丸子のまちづくり構想の範囲に少しかかっている町会である。今後は幅広く、地域の方から賛同をいただきながら、まちづくりを進めていけたらと考えている。

③下丸子商栄会

- ・大田区産業振興課の支援のもとプレミアム商品券を現在販売しており、デジタル商品券も販売予定となっている。積極的にこのような事業に取組み、商店街の活性化につなげていきたい。
- ・商栄会の会員は70～75店舗で構成されており、自分たちのお店だけではなく地域に溶け込み、様々な取り組みの支援を行っている。これからも積極的に地域の取組に関わっていきたいと考えている。

④工和会協同組合

- ・工和会は半世紀以上にわたり、下丸子・矢口・鶉の木・千鳥地区を中心に、工業の集まりとして活動を行ってきた。組合員の8割が従業員10人未満の小さな会社（町工場）で、残り2割が大企業で構成されている。現在では約100社が加盟している。
- ・工和会では、研修・親睦・地域貢献を柱に活動を展開している。また、次世代育成を目的として青年会が存在し、活発に活動を行っている。
- ・研修では加工技術や経営に関する勉強をメーカーより講師を招いたり、工場見学に行ったりしている。
- ・親睦としては、毎年区民プラザを使わせていただき最大1000人が集まる親睦会を開催している。
- ・地域貢献や地域のファンを増やすために、野原先生からも説明があった通り、OCTCと協力しておたオープンファクトリーを開催している。
- ・また地域貢献活動として、矢口小学校の子供まつりや二十一世紀桜まつりのお手伝い、インターシップや修学旅行等の学生の受け入れ等を行っている。
- ・親団体である大田工業連合会と連携し、展示会の参加や国内外への活動拡大の支援も行っている。
- ・私は子どものころから下丸子で育ってきたので、下丸子には強い思いがある。これからの下丸子地区のまちづくりのお役に立てればと考えている。

⑤東急株式会社

- ・当社グループは1922年に目黒・蒲田電鉄設立に始まり現在230社5法人で構成され、交通事業・不動産事業・生活サービス事業・ホテルリゾート事業を展開している。
- ・当社は中核企業として、まちづくりを事業の根幹に置き、皆様の日々の生活に密着した様々な領域で事業を展開している。その中でも私が所属する部署は、大田区、品川区エリアのまちづくり事業を担当しており、駅と一体となった、または駅周辺での開発や土地・建物に関する資産活用のご提案、これらに関する行政・地域との連携により地域の賑わい創出・活性化につなげていく取組を展開している。
- ・近年の取組としては、池上駅の駅ビルや駅周辺でのエリアリノベーション施策の推進、蒲田駅周辺の再開発をはじめとしたまちづくり等を行っている。
- ・下丸子のよりよいまちづくりに向けて、皆様としっかり連携しながら取り組んでいきたいと考えている。

⑥東急電鉄株式会社

- ・東急電鉄は鉄道営業が中心となるが、まちづくりと連携した駅の改良を多く行っている。
- ・具体的には、池上の駅では駅をきれいにしつつ、構内の踏切を無くすなどの安全に配慮し、駅の上部利用を行い集客や利便性を高めるなど、まちと鉄道の一体を意識して取組を行った。また、戸越銀座駅、旗の台駅のような木材を利用した駅舎の改修や、踏切解消を目的とした連続立体交差事業を道路管理者等の行政機関と連携し、戸越公園駅や自由が丘駅付近で検討を進めている。そのような経験を下丸子にも還元出来たらよいと考えている。

⑦NTTアーバンソリューションズ株式会社

- ・NTTアーバンソリューションズは、NTTグループが保有する土地・建物の利活用や先進的なICTサービスを活用したまちづくりを推進することを目的に一昨年設立した企業である。

- ・設立して2年余りと多くの実績は有していないが、皆様と情報交換をしながらまちづくりを進めていけたらと考えている。

⑧株式会社三桂製作所

- ・当社では、電気工事にまつわる商材を取り扱っている。
- ・新潟にも工場があり、ほとんどの商品は新潟工場で作っているが、大田区の工場では40年以上プリカチューブ（加撓性（物体が柔軟であり、折り曲げることが可能である性質）を持つ金属性電線管）という商品を作っている。
- ・会社内に大きな池や庭園があり、春から初夏にかけてカルガモが子育てをしている風景を見ることができる。

⑨キャノン株式会社

- ・企業としては84周年を迎え、下丸子の地に工場が建てられてからは70周年となっている。
- ・当初は現在の1/4の敷地からスタートし、隣接する工場が移転するたびに工場を拡大しながら現在の規模となっている。
- ・下丸子地区懇談会の事務局を2003年から務めており、地域の方々とコミュニケーションを取りながら、二十一世紀桜まつりへの参加や小学校と連携したサマーワークショップの開催等を行っている。
- ・多くの従業員が下丸子駅を利用させてもらっていることもあり、キャノンとして下丸子まちづくりに何ができるのかを一緒に考えていきたい。

⑩株式会社白洋舎

- ・当社は明治40年に設立し、昭和7年より現在地に東京支店を構え、90年間地域の皆様とともに発展してきた。平成26年には本社を下丸子に移転した。
- ・従業員数は1700名で、そのうち400名（本社・東京支店）が在籍し、130名が下丸子駅を利用している。
- ・地域貢献として、毎月会社の周りの清掃活動を行っている。
- ・下丸子地区の強みと企業の特徴を活かし、下丸子駅の利用者にとって利便性や安全性が向上するまちづくりを目指し、当社もお手伝いしていきたい。

⑪東日本電信電話株式会社

- ・当社は電話以外にも、フレッツ光などの光ファイバーネットワークの構築や、AI・IOTを使用した地域のスマート化・デジタル化の支援を行っている。誰もが住みやすいまちづくりの推進に向けて当社も支援していければと考えている。

2) 質疑応答

○下丸子三丁目町会

- ・下丸子駅は下丸子三丁目町会の中にある駅である。
- ・下丸子地区は、約700年の歴史のある地区であり、今後のまちづくりを検討するにあたり是非地区の歴史を踏まえた検討をお願いしたい。

(3) その他（今後の進め方について）

○司会 より

- ・まちづくり構想を2年間かけて意見交換しながら取りまとめていくのが目的として、今年度は意識を共有する土台作りとして3回本会の開催を予定。
- ・次回(第2回)は12月1日(水)9:30~12:00の開催に向けて日程調整を進めているところ。決定次第改めてご連絡させて頂く。
- ・第2回は下丸子周辺地区のまち歩きを通して現状・課題を議論していく予定。
- ・第3回は第2回までの議論も踏まえ、地区のビジョンを考える会としていきたいと考えている。
- ・第2回の開催に向けて、後日アンケート調査の実施を予定しており、ご協力の程お願いしたい。

○OCTC 野原センター長より

- ・この2年間のコロナの影響により、それぞれの団体・企業でご苦労された部分はあると思う。皆様の活動を活発にできるようなまちづくりを今後考えていきたい。
- ・下丸子三丁目町会より旧池上道から続く700年の歴史の話があり非常に大事な観点だと思う。今後皆様から様々な観点のご意見を頂きながら、まちづくり構想として取りまとめていきたいと考えている。
- ・次回はまち歩きを予定しており、具体的な現場を見ながらお話しできる機会となる。皆様から様々なご意見を頂きながら進めていきたいと考えている。今後長い付き合いになるかもしれないがよろしくお願いしたい。

以上